

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書

団体名	特定非営利活動法人ままとんきっず
-----	------------------

取組の名称	地域と連携した乳幼児の虐待予防のための居場所作りと相談機能強化 4
実施場所	ままとんきっず事務所（川崎市多摩区布田 24-26） グループリビングおでんせ中の島（川崎市多摩区布田 24-25）
対象地域	主に川崎市多摩区
対象地域の特色・課題	<p>■特色</p> <p>・多摩区ではマンションの増加と共に核家族化が進み、親が身近な人から子育てを学ぶ機会が減少し、地域とのつながりの希薄から親子で孤立化する傾向にあります。</p> <p>地方出身の夫婦は実家のサポートを得ることが難しく、周囲に相談できる人がいない母親の場合は子育ての悩みを自分一人で抱えることになり育児不安やストレスに繋がっています。</p> <p>・2017年の多摩区の調査では子育て世代の約27%が孤立感を感じており、父親の子育てへの参加度が低くなるにつれ孤立感を感じる割合が高いことが分かりました。</p> <p>虐待していると思うことがある人は約15%にのぼり、また約50%の母親が自分の時間を持ちリフレッシュすることを望んでいるという結果が出ています。</p> <p>・子どもや子育てに関わる支援団体・サークル等は多数ありますが、横の繋がりはありません。</p>

	<p>■課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの育ちや自身のコミュニケーションに不安を覚える母親は多く、地域の子育て支援センターなど大勢の親子が集まる場所には参加しにくい状況もあり、個別に対応する必要性が増しています。 ・子育ての悩みを一人で抱えていると知らず知らずの内にストレスが溜り、その矛先が子どもへと向かい虐待に繋がる可能性があります。 ・近年は家事や育児に関わる父親も増えてきていますが、仕事で忙しかったり実際に何をしたらいいのかわからない父親もまだまだ多く、パートナーとの関係に悩む母親も多いです。 ・子どもを0歳・1歳で保育園に入れて職場復帰する母親が増えていて、幼稚園への入園を検討している親子は孤立感を感じています。 ・バラバラで活動している子ども・子育てに関わる支援団体・サークル等の横の繋がり「ネットワーク作り」が必要です。
取組の趣旨・目的	<p>■趣旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の子育ての悩みや不安・育児ストレスの軽減に繋がるような講座に参加することで、悩んだり心配したりしているのは「自分だけではない、みんな一緒」などと知り、お互いの経験を共有することでマスコミやネット情報に惑わされることなく親も子どもと一緒に成長していきます。 ・地域の関係各所や団体と連携して、乳幼児親子が安心して地域へ踏み出していくける地域作りに寄与します。

	<p>■目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の子育て家庭のニーズに柔軟に対応することで、新米ママサロンから始まる「切れ目のない子育て支援」が児童虐待の予防や子育て不安の解消に繋がります。
実施内容・実施スケジュール	<p>1 通年事業 親子の居場所（年間 210 日）</p> <p>時期 4月～3月（月～金）</p> <p>場所 ままとんきっず事務所ほか</p> <p>対象 主に乳幼児親子、子育て支援に関心のある方</p> <p>内容 ままとんサロン 171 日 / 1062 名 　一時預かり 54 日 / 56 名 　グループ保育 82 日 / 308 名 　ママサポート 155 日 / 184 名 　産前・産後サポート 158 日 / 222 名 　グループ貸し 14 日 / 45 名 　スタッフ研修 5 日 / 44 名</p> <p>2 今年度特に取り組む事業</p> <p>① ケアを必要とする乳幼児と親のためのスペシャル講座（別室保育）</p> <p>時期 7月～3月 合計 12 回</p> <p>場所 グループリビングおでんせ中の島（講座） 　ままとん事務所（保育）</p> <p>対象 主に乳幼児親子、子育て支援に関心のある方</p> <p>内容 専門家講師による講義と個別相談（子どもは別室保育）</p> <p>7/26 幼稚園ママのおしゃべり会 3組 8/30 子育てで困っていることを話そう 2組 9/27 発達を理解する 4組 10/25 幼児食について（暴風警報発令のため中止） 11/22 赤ちゃんにもママにも優しい安眠ガイド 6組 12/13 パートナーとの関係 5組 1/24 初めてのアンガーマネジメント 8組</p>

	<p>2/3 子育てで困っていることを話そう 3組 2/21 アンガーマネジメント 6組 (以下新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) 2/28 お弁当について 3/6 ワーキングママのお話会 3/27 入園前のママのための相談会</p> <p>②ピアカウンセリング講座（育自力 法人オリジナル講座）</p> <p>時期 7月～3月・毎月1回合計9回 場所 グループリビングおでんせ中の島（講座） ままとん事務所（保育） 対象 主に乳幼児親子、子育て支援に関心のある方 内容 ファシリテーターと共にテキストを基に話し合いながら自分の考えを整理し、育児不安やストレスを軽減していくためのピアカウンセリング講座。 (日程・テーマ)</p> <p>8/19 自分を知る 2名 10/21 ストレスの解消法 2名 11/18 子どもの成長 0名 12/16 コミュニケーション 2名 1/20 お互いを助け合う関係づくり 0名 2/17 自分の成長 0名 (以下新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) 3/16 子離れ・親離れ</p> <p>③地域交流「中野島こども応援まつり」</p> <p>時期 6/30 場所 中野島会館 対象 乳幼児親子、地域の方々(145名) 内容 ステージ 落語（サイダー・中野島出身） 歌とダンス（ワガママ SUN バンド） ベビトレヨガ（ママ講師） ブース ハギレ・糸で遊ぼう（多摩区でプレーパークをやっちゃおう会）</p>
--	---

	<p>フェルト・毛糸工作（まちプロ中野島） 簡単工作（おやじ連） バルーンアート・手形アート（まとんきつず）</p> <p>④新米ママサロン</p> <p>時期 7月～1月 隔月で合計4回 場所 グループリビングおでんせ中の島 対象 第1子のママ 内容 助産師によるアドバイスやママ同士の交流 9/21 マタニティーブルーと産後うつ 0組 10/18 ワンオペ育児 0組 11/29 二人目育児 2組 2/14 ワーキングママのお話 4組</p> <p>⑤パパと子ども向け企画 「ファミリーで遊んで学べるサロン」</p> <p>時期 2/22 場所 中野島会館 対象 乳幼児親子（37名参加） 内容 パパのよみきかせ・手遊び（イキメン研究所・男女共同参画センター） 家事シェアについて（おしゃべりサロンあゆみ） 手形アート・かんたん工作</p>		
参加者の年代	0歳からシニア	定員 (1回あたり)	講座 親子8組 サロン 不特定多数 イベント 不特定多数
実施頻度	講座 月1、2回 イベント 年2回 サロン 月水金曜日	活動日数 (年間)	212日
スタッフ体制	<ul style="list-style-type: none"> 子育て経験豊かなスタッフが講座MC・保育・サロンに入り、専門家からだけでなく先輩ママの生の声を気軽に聞ける環境を作りました。 保育については保育士・幼稚園教諭の資格保持者や子育て経験豊かなスタッフを保育される子どもの人数とほぼ同 		

	<p>数ぞろえて、きめ細やかな保育をしました。</p>
連携する団体・連携の手法	<p>■連携する団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で活動している団体やグループ・主任児童委員さんたちと「中野島子ども・子育て応援ネットワーク」を立ち上げ、今後も連携先を増やしていきながら地域に根ざした活動をしていきます。 <p>団体名：中野島ファミリーカフェ おしゃべりサロンあゆみ 多摩区でプレーパークをやっちゃんおう会 わがまま SUN バンド コミュニティーハウス MUKU ひょっこりガーデン 川崎さくら児童家庭支援センター おやじの会 中野島学童ホール フードバンク川崎 結ケアセンター 主任児童委員 他</p> <p>■連携の手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メーリングリストや交流会でお互いの活動・地域の子育て環境や子育て家庭のニーズについて情報を共有しました。 ・多世代が参加できる地域交流のイベントを開催しました。(6/30)

	<p>・子育てサロンは少人数でゆったりと過ごせてスタッフに気軽に相談もでき、グループ保育や一時保育・ピアカウンセリング講座は母子分離により共依存に陥るのを防ぎ、家事や育児に悩む親子のためのサポート等は母親の心身の負担軽減に繋がりました。</p> <p>・ケアを必要とする親子のための相談機会を含めたスペシャル講座は親の悩みや不安を軽減することで虐待に繋がるのを防ぎ、早期に専門家に繋げる機会になりました。</p> <p>・新米ママサロンではていねいな見守りを行いました。助産師によるサロンは新米ママが安心して参加でき、子育て不安の解消や地域にでるきっかけになったようです。 (各回参加を希望される方は多かったのですが、天候に左右された回もありました)</p> <p>・乳幼児親子が地域の方々と交流する機会となったイベントは、父親の育児参加を促し、子育て家庭にとって子どもの育ちと一緒に見守る顔見知りが増えるきっかけとなりました。</p> <p>・「新米ママの支援」から始まる「切れ目のない子育て支援」が地域との連携により「親子の孤立感を防ぐセーフティーネット」の一端となり得ることを実感しました。引き続き地域の子育て家庭のニーズに柔軟に対応する事業を展開していくきたいと考えています。</p>
--	--